

キャラクター名 フローネ・リンバウム	プレイヤー名
-----------------------	--------

種族	ナイトメア	種族特徴	異貌、弱点[土、銀+2]		
生まれ	戦士	性別	女	年齢	19
冒険者Lv	11	経歴	誰かを助けたことがある。		
経験点	1620		同性の家族がいない。 高レベルの魔法をかけられたことがある。		

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	7	器用度	5	6		18 + 2	3
		敏捷度	10	3		20	3
体	15	筋力	5	10		30 + 2	5
		生命力	2	5		22	3
心	8	知力	11	7		26	4
		精神力	6	6		20	3

技能	Lv.	技能	Lv.
ファイター	11		
マジテック	6		
レンジャー	8		
エンハンサー	6		
アルケミスト	1		

戦闘特技				言語	会話	読文
タフネス	2122p		p	交易共通語	○	○
治癒適性	2122p		p	魔動機文明語	○	○
不屈	2123p		p	ユーレリア地方	○	○
武器習熟A/ソード	IB31 p		p			
魔力撃	IB39 p		p			
武器習熟S/ソード	IB31 p		p			
命中強化	IB32 p		p			
魔力撃強化	IB32 p		p			
全力攻撃	IB36 p		p			
	p		p			
	p		p			

[illegible]

技能	技能	基本	基本	基本追加	鎧と盾	ランク	必要	回避力	防護点
	レベル	命中力	回避力	ダメージ			筋力		
ファイター	11	14	14	16	鎧	ボーンベスト	16+10		6
グラップラー	0				盾	カイトシールド	13	1	1
フェンサー	0				その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				
シューター	0				回避技能	ファイター	合計値	15	7

[illegible]

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP	魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
3 <sub>m</sub>	20 <sub>m</sub>	60 <sub>m</sub>	2d+ 15	7	70	魔動機術	6	10			
魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP							
2d+ 0/×	2d+ 0	2d+ 14	2d+ 14	38							

装備品		説明
頭		
耳	マジスフィア (小) オプション付き	オプション：ターゲットサイト 効果MP-1
顔		
首	小熊の爪	マッスルベアーの効果+1（妖精郷内で作成）
背中	サーマルマント	温度変化から身を守り 炎・氷水属性ダメージを-1にする
右手	怪力の腕輪	
腰	アルケミーキット	
足	パレットスリンガー	
その他マジスフィア (中)		

装備品		説明
左手	宗匠の腕輪	

— その他メモ —	自動失敗 チェック
ユーレリア地方 辺境の村生まれ	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑤
その村では未だにナイトメアに対する差別が激しい村であり、よりによって彼女はそんな場所で産声をあげる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑩
出産の際に母は彼女の角によって大きく傷をつけてしまいそれが原因で死に至る。それがまた拍車をかけ、彼女は村の皆から「呪われた子」と呼ばれる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑮
村の人間たちからは忌嫌われ、村出身の神官からは「穢れをとってやる」と嫌がらせのようにイレイス・ブランドッドをかけられる、そんな日々を送っていた。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑳
そんな彼女でも家族である父と兄とは仲睦まじく暮らしていた。父は彼女の未来を見据えてか兄と共に剣術を教え込む。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉕
戦うことに恵まれた体躯を持つナイトメアである以上きつと剣が必要になる日が来ることを父は知っていた。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉙
彼女が成人した年、父と兄がいらない日を見計らって村長がやってきて、村の為に言いフローネを奴隷商に売りつけた。呪われた子とてここは生まれ故郷、その村民を助けると思えば本望であろうと。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉙
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉙

プレイヤー名

プレイヤー名

[illegible]